

令和2年度第1回富士市市民協働推進審議会会議録(概要)

1. 日時 令和2年7月10日(金) 午前10時～午前11時30分
2. 場所 市役所9階第2委員会室
3. 出席者 委員(敬称略)
飯倉清太、今屋敷正成、工藤千麻琴、長岡路子、中山勝、日詰一幸、
村瀬京子、渡邊英樹、後藤典子、小早川光
富士市
市民協働課長他職員3名

4. 概要

■ 事務局説明・委員意見・質疑

<市民協働関連事業の概要について>

- 各制度説明会については、Zoom等オンラインでの開催も検討してほしい。

<令和元年度申請各種制度採択結果等について>

- 令和元年度申請各種制度採択事業における新型コロナウイルス感染症の影響について。

→市民協働事業提案制度採択事業のうち、「使用済み紙おむつのリサイクルに向け、関係資料作成及び事前調査」については事業を実施しているが、「ラジオエフ『富士市民SDGs宣言』事業」については実施できていない。なお、市民活動支援補助金採択事業については、未調査のため後日返答。

<「市民活動との協働に関する基本指針 第三版(案)」について>

- 「市民活動との協働に関する基本指針」の行政組織内の位置付けについて。
→研修は過去にあったが、行政職員が全員目にしたことがあるわけではない。
- 指針の改訂の度に同じような内容が並ぶのはどうか。
- 様々な主体との連携の際に、「市民活動との協働に関する基本指針」の活用を検討してほしい。
- 富士市民活動センターの使われ方について(今屋敷委員回答)
→法人格を持たない市民団体の活用が多い。今後はソーシャルビジネス的な考えの方々が出入りしていくのではないかと思われる。
- 行政と市民活動団体等との協働事例(実績例)を入れるのもよい。
- 新型コロナウイルス感染症の影響については入れた方がよい。
- パブリックコメントにはかけずとも、NPO法人や事業者を含め、協働に関わる方からの意見を貰ってはいかがか。

<市民活動支援補助金制度の改正検討について>

- 行政としての基本的な立場、考え方というのは示されているが、決め方については様々な角度から考えた方がいいのではないのか。